

科 目 名	オーラル・コミュニケーションⅡ	担当教員	赤 松 直 子		
		担当形態	単独		
テキスト	「Children's Garden」成美堂	単位数 授業形態	2 単位	演習	開講時期 後期

講義概要**■到達目標**

- ・保育の現場で子どもたちとコミュニケーションをとるために役立つ基礎的な英語表現や語彙が身につく。
- ・英語の手遊び歌を身につけ、保育活動に歌遊びを取り入れることができる。
- ・英語絵本の読み聞かせを通じて、子どもたちに簡単な英語の言葉を紹介し、説明できる。
- ・英語圏の子どもたちの文化を学び、保育の現場で外国の文化について子どもたちに説明でき、異文化に親しむ活動を取り入れることができる。

■授業の概要

保育現場の様々な場面を想定したダイアログを学習し、実習に関するアドバイス、実習生の日記を読み、声かけを英文作成し、さらに英語圏の子ども文化を学ぶ。また、手遊び唄を練習し、絵本を読み、保育現場での活用方法も紹介する。このように保育を英語で理解しながら、基礎的なコミュニケーション力を育成することと、この学びを将来、保育現場で実践できることを目標とする。CD、DVDを活用しながら、主にテキストを使用し、演習中心となる。

■授業計画

- 第1回 Orientation/Nursery Rhymes
 第2回 Play house/ Emi meets Ana
 第3回 Internship tips / At the chin-up bars
 第4回 My first day as an intern
 第5回 Halloween
 第6回 Extensive reading # 1
 第7回 Extensive reading # 2
 第8回 Pancake recipe / Children make pancakes
 第9回 Snacks / Around the hot electric pan
 第10回 Snack project
 第11回 Christmas
 第12回 Christmas crafts
 第13回 Green-eyed witch # 1
 第14回 Green-eyed witch # 2
 第15回 What a show ! / Class report

■準備学習

受講開始までに、保育所保育指針 保育内容領域「人間関係」第8章から第10章、保育所保育指針解説書 厚生労働省編（フレーベル館）人間関係（p.80）を読むこと。予習ノートを作り、次回に学習するテキストを読み、単語を調べ、練習問題の解答を書いてくること。

■評価方法

- ・授業時間外に行う準備学習（必要な物品、予習ノート提出を含む） — 20%
- ・授業時間内の取組み（授業内ワーク、製作物、発言回数および内容を含む） — 30%
- ・多読（絵本）レポート — 10%
- ・学習の記録 — 20%
- ・試験またはレポート — 20%

参考文献	「外国人の子どもと保育」萌文書林	特記事項	英和・和英辞書（電子辞書可）を持参すること。携帯電話使用不可。製作のときは、はさみ、のり、色鉛筆などが必要。多読にはイヤーフォンが必要。定員20名。	
卒業・免許状・ 資格との関連	幼稚園教諭免許状選択必修 保育士資格選択必修	幼 保	第66条の6に定める科目 教養科目	